

信州の環境にやさしい農産物認証 栽培事例（なす）

認証取得者氏名	有限会社天龍農林業公社	認証番号	50-00316	地域名	下伊那
地域（標高）	平岡 350m				
土壌（土性）	褐色森林土壌				

項目	生産計画の内容	補足メモ
1 栽培 状況	(1) 品目 なす （品種： ていざなす）	
	(2) 作型名 露地夏秋栽培	
	(3) 面積 18 a	
	(4) 栽培戸数又は労働力	
	(5) 栽培期間 平成27年5月 ～ 平成27年10月	
	(6) 収穫期間 平成27年7月10日頃 ～ 平成27年10月20日頃	
	(7) 収穫量	H26実績 4,000 kg （うち出荷量： 4,000 kg） H27計画 6,132 kg （うち出荷量： 6,132 kg）

2 栽培 方法	(1) 土づくり 平成27年3月24日 亜炭散布	
	(2) 播種 平成 年 月 日	
	(3) 育苗期間 平成 年 月 日 ～ 月 日	
	(4) 定植 平成 27年 5月 1日 ～ 5月 8日	定植苗購入
	(5) 肥培管理 化学肥料を50%以上削減するために導入している具体的な技術 <ul style="list-style-type: none"> 有機由来窒素源としてオール有機トキ（有機100%）を使用 不足する分を丸桑特3号（化成）にて補う 土壌改良を目的として亜炭を散布 技術を導入する際の考え方 <ul style="list-style-type: none"> 各圃場とも規模の大小はあるが連作障害がみられるため、微生物資材や米ぬか、茶粉末、納豆残渣液などを混用し、微生物を活用して連作障害を軽減する。 肥料の全面施肥は行わず畝施用を行うことで無駄をなくし、慣行よりも少ない量で対応する。 肥料の施用内容	

肥料の種類	施用量 (kg/10a)	成分量(kg)		
		窒素 うち化学由来	リン酸	加里
ロイヤル・フミン酸粒剤	200			
オール有機トキ	320	26.2	19.5	17
フミングアノ粒剤	10		2.6	
丸桑特3号	60	7.2	3	3
合計		33.4	25.1	20

地区慣行施肥量 (kg/10a)	35
低減率(%)	79.4

2 栽培方法	(6) 病虫害防除	<p>化学合成農薬を50%以上削減するために導入している具体的な技術</p> <ul style="list-style-type: none"> ・適期防除（害虫・病気はともに発生初期に確実に防除を行う） <p>技術を導入する際の考え方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病気の発生は例年あまり見られないため、発生初期の確実な防除を基本とする。 梅雨時期と秋雨時期のうどん粉病については、例年発生するため適期に防除する。 ・害虫についてはアブラムシが例年発生するため、サンクリスタル乳剤を主とした散布と、ガムテープ使用など物理的方法により確実に防除する。 <p>病虫害防除の内容</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>使用農薬名※</th> <th>倍率・使用量</th> <th>有効成分数</th> <th>散布回数</th> <th>成分カウント</th> <th>除外カウント</th> <th>慣行回数への付加カウント</th> <th>慣行回数</th> <th>対象病害虫</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">殺菌剤</td> <td>① Zボルドー水溶剤</td> <td>500</td> <td>1</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> <td></td> <td rowspan="5">12</td> <td>褐斑細菌病、軟腐病、黒斑病他</td> </tr> <tr> <td>② カリグリーン水溶剤</td> <td>800</td> <td>1</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> <td></td> <td>うどんこ病、さび病、灰色かび病</td> </tr> <tr> <td>③ ハーモメイト水溶剤</td> <td>800</td> <td>1</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> <td></td> <td>灰色かび病、さび病、うどんこ病</td> </tr> <tr> <td>④ アミスターオブティフロアブル</td> <td>1,000</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>2</td> <td></td> <td>1</td> <td>灰色かび病、すすかび病、褐色腐敗病、うどんこ病、黒枯病</td> </tr> <tr> <td>⑤ ポリオキシシナール水溶剤</td> <td>5,000</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td></td> <td>ハダニ類、うどんこ病、すすかび病、灰色かび病</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">殺虫剤</td> <td>⑥ コロマイト乳剤</td> <td>1,500</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td></td> <td rowspan="5">9</td> <td>コナジラミ類、ハダニ類</td> </tr> <tr> <td>⑦ スピノエース顆粒水和剤</td> <td>2,500</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td></td> <td>オオタバコガ</td> </tr> <tr> <td>⑧ サンクリスタル乳剤</td> <td>300</td> <td>1</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> <td></td> <td>アブラムシ類、コナジラミ類、ハダニ</td> </tr> <tr> <td>⑨ フェニックス顆粒水和剤</td> <td>2,000</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td>オオタバコガ</td> </tr> <tr> <td>⑩ スターマイトフロアブル</td> <td>2,000</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td>ハダニ類</td> </tr> <tr> <td>除草剤</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="4"></td> <td>合計</td> <td>27</td> <td>23</td> <td>1</td> <td>22</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>農薬の使用回数</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>地区慣行農薬使用回数</td> <td>23</td> </tr> <tr> <td>削減率(%)</td> <td>82.6%</td> </tr> </table>		使用農薬名※	倍率・使用量	有効成分数	散布回数	成分カウント	除外カウント	慣行回数への付加カウント	慣行回数	対象病害虫	殺菌剤	① Zボルドー水溶剤	500	1	4	4	4		12	褐斑細菌病、軟腐病、黒斑病他	② カリグリーン水溶剤	800	1	4	4	4		うどんこ病、さび病、灰色かび病	③ ハーモメイト水溶剤	800	1	4	4	4		灰色かび病、さび病、うどんこ病	④ アミスターオブティフロアブル	1,000	2	1	2		1	灰色かび病、すすかび病、褐色腐敗病、うどんこ病、黒枯病	⑤ ポリオキシシナール水溶剤	5,000	1	2	2	2		ハダニ類、うどんこ病、すすかび病、灰色かび病	殺虫剤	⑥ コロマイト乳剤	1,500	1	2	2	2		9	コナジラミ類、ハダニ類	⑦ スピノエース顆粒水和剤	2,500	1	2	2	2		オオタバコガ	⑧ サンクリスタル乳剤	300	1	5	5	5		アブラムシ類、コナジラミ類、ハダニ	⑨ フェニックス顆粒水和剤	2,000	1	1	1			オオタバコガ	⑩ スターマイトフロアブル	2,000	1	1	1			ハダニ類	除草剤								1						合計	27	23	1	22		農薬の使用回数	4	地区慣行農薬使用回数	23	削減率(%)	82.6%
		使用農薬名※	倍率・使用量	有効成分数	散布回数	成分カウント	除外カウント	慣行回数への付加カウント	慣行回数	対象病害虫																																																																																																																
	殺菌剤	① Zボルドー水溶剤	500	1	4	4	4		12	褐斑細菌病、軟腐病、黒斑病他																																																																																																																
		② カリグリーン水溶剤	800	1	4	4	4			うどんこ病、さび病、灰色かび病																																																																																																																
		③ ハーモメイト水溶剤	800	1	4	4	4			灰色かび病、さび病、うどんこ病																																																																																																																
		④ アミスターオブティフロアブル	1,000	2	1	2		1		灰色かび病、すすかび病、褐色腐敗病、うどんこ病、黒枯病																																																																																																																
		⑤ ポリオキシシナール水溶剤	5,000	1	2	2	2			ハダニ類、うどんこ病、すすかび病、灰色かび病																																																																																																																
	殺虫剤	⑥ コロマイト乳剤	1,500	1	2	2	2		9	コナジラミ類、ハダニ類																																																																																																																
		⑦ スピノエース顆粒水和剤	2,500	1	2	2	2			オオタバコガ																																																																																																																
		⑧ サンクリスタル乳剤	300	1	5	5	5			アブラムシ類、コナジラミ類、ハダニ																																																																																																																
⑨ フェニックス顆粒水和剤		2,000	1	1	1			オオタバコガ																																																																																																																		
⑩ スターマイトフロアブル		2,000	1	1	1			ハダニ類																																																																																																																		
除草剤								1																																																																																																																		
				合計	27	23	1	22																																																																																																																		
農薬の使用回数	4																																																																																																																									
地区慣行農薬使用回数	23																																																																																																																									
削減率(%)	82.6%																																																																																																																									
(7) 雑草防除	黒マルチ栽培を基本とし、刈払機による機械除草、もみがらマルチ、マルチ麦、防草シートを利用し、除草剤は使用しない。																																																																																																																									
(8) 収量の状況	平成27年産は、苗の配布がおくれたため、それに伴い定植・収穫開始時期が遅れたこと、7月の曇天、8月の高温、盆過ぎからの低温と日照不足により例年の7割。																																																																																																																									
(9) その他特記事項	地形的に風が強い圃場は、障壁作物としてタカキビなどの雑穀類を播種した。風をよけるとともに害虫の侵入を防ぐ狙いがある。																																																																																																																									
3 販売状況	(1) 主な販売地域	県内、関東圏																																																																																																																								
	(2) 販売方法	県内（スーパー、直売所、レストランなど） 県外（卸、仲卸中心）																																																																																																																								
	(3) 県認証の活用方法	直接取引先に対しては認証通知書のコピーをもって取り組みをアピールしている。																																																																																																																								
	(4) 実需者や消費者の反応、メリット	既存取引先の間では県認証を取得していることで、一定の評価を頂いている。																																																																																																																								

